

農作業コツのコツ

【第11号】

令和3年7月3日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

早生は飽水管理、中生・晩生・直播は間断かん水を徹底しましょう。

カメムシが多発。草刈りの徹底を！刈り取った草は、用排水路に流さないようにしましょう。

水稻の生育は、早生は平年並みで、コシヒカリやてんこもりは平年より1～2日遅くなっています。

- ① 早生品種は出穂期まで**飽水管理**を、コシヒカリやてんこもり、直播栽培は幼穂形成期頃まで**間断かん水**を行いましょ。
- ② 斑点米カメムシの発生数を減らすため、畦畔等の**草刈り**を徹底しましょ。

水稻の生育状況

(6月29日：福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

品種名	田植日		草丈 (cm)		株当たり茎数 (本)		葉齢 (葉)		葉色		幼穂形成期		
	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	R3	平年	
とみちから	5/3	5/3	61.8	63.3	27.6	24.9	11.9	11.6	4.4	4.3	6/24	6/24	
五百万石	5/2	5/3	58.3	56.8	16.8	18.8	11.9	12.3	4.2	4.3	6/26	6/26	
コシヒカリ	5/14	5/13	53.1	54.6	22.5	23.0	10.6	10.9	4.1	4.2	—	7/10	
てんこもり	5/7	5/8	45.4	47.0	32.9	34.3	11.5	11.6	4.4	4.2	—	7/13	
密苗	コシヒカリ	5/14	5/15	52.0	47.5	23.0	30.8	10.6	10.8	4.2	4.2	—	7/13
	てんこもり	5/8	5/10	45.0	44.4	36.4	37.5	11.4	11.5	4.1	4.2	—	7/13
直播	カルパーコシ	4/29	4/30	50.8	53.3	179.3	172.0	9.7	10.0	4.2	4.0	—	7/14
	鉄コ コシ	5/5	4/29	41.4	47.9	165.0	170.7	10.0	10.0	4.5	4.3	—	7/16
	鉄コ てんこ	4/27	5/1	37.6	40.5	203.5	201.7	10.5	10.7	4.3	4.4	—	7/20

調査筆数：とみちから2筆 五百万石2筆 コシヒカリ3筆 てんこもり2筆 密苗コシヒカリ3筆 密苗てんこもり2筆 直播は各2筆
※直播の田植日は播種日、株当たり茎数はm当たり茎数

水稻

1 水管理

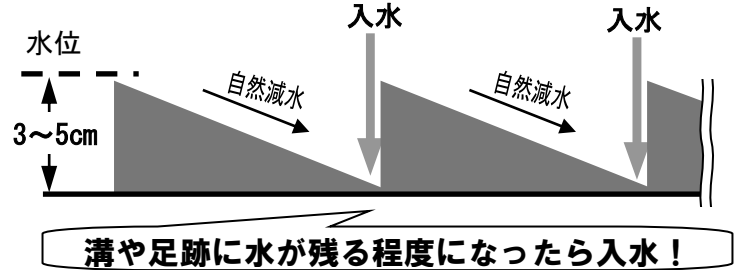
(1) とみちから、五百万石

- ・溶出された穂肥成分を効率的に吸収し、稲体の活力を維持するため、出穂期まで足跡に水が残る程度の**飽水管理**を行いましょ。
- ・干し過ぎは葉色の低下を招くので注意しましょ。

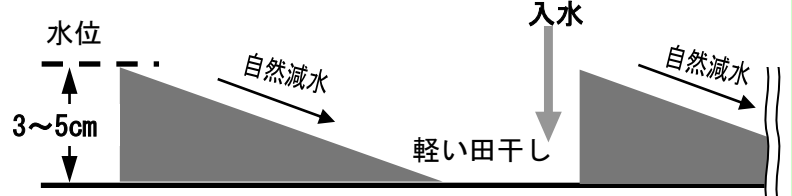
(2) コシヒカリ、てんこもり、直播

- ・湛水と田干しを繰り返す**間断かん水**を行い、幼穂形成期までに足が3cm沈む程度の硬さに仕上げましょ。
- ・密苗コシヒカリは草丈が長めとなっているので、落水期間を長めの**間断かん水**を行いましょ。

飽水管理



間断かん水



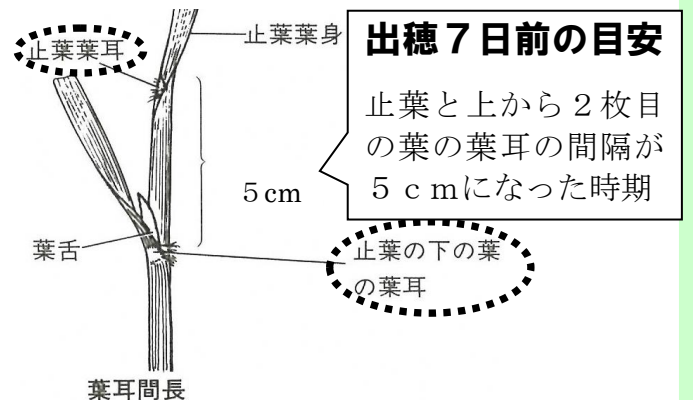
2 穂肥施用

(1) とみちから、五百万石

肥効調節・分施肥系ともに、出穂7日前（7月9日頃）に葉色を確認し、葉色が極端に淡い場合は出穂3日前までに**追肥**を行い、登熟能力の向上を図りましょ。

○早生品種の追肥施用の目安

品種	葉色確認・施用時期	葉色	施用量
とみちから	出穂7日前から3日前	4.5以下	追肥3号 10kg/10a
五百万石		4.2以下	



(2) てんこもり

①肥効調節体系（基肥：LPss晩生専用）の場合

- ・原則、穂肥は施用しない。
- ・ただし、幼穂形成期前後、**葉色4.0**以下の場合は、直ちに**追肥3号**で10a当たり**1.1kg**程度施用しましょう。

②分施肥体系（基肥：基肥555）の場合

1回目穂肥は幼穂を確認したら、直ちに(5月7日植えで7月12日頃)施用しましょう。

○てんこもりの穂肥施用の目安

施用時期	1回目	2回目
	幼穂を確認したら直ちに (幼穂長1mm)	1回目の10日後
10a当たり施用量 (使用肥料：追肥3号)	1.1kg	1.3kg

3 病虫害防除

(1) 畦畔等の草刈り

- ・水田周辺の雑草地等では斑点米カメムシが平年より多く確認されています。畦畔の**草刈り**を徹底しましょう。
- ・雑草の穂が斑点米カメムシの繁殖場所となるため、一斉草刈り後は草の穂が出ないようにこまめに草刈りを行いましょ。

7月3日(土)、4日(日)は「県下一斉草刈り日」

(2) 随時防除

- ・**葉いもち**、**紋枯病**の病斑や葉を食害する害虫を発見したら、早期に防除しましょう。
- ・茎数がやや過剰なほ場では**紋枯病**の発生が懸念されます。現在、早生品種は防除適期(出穂14日前頃)なので、発生が見られたら速やかに防除しましょう。

○随時防除の目安

病虫害	防除薬剤名	防除時期	使用時期	使用回数	10a当たり散布量
葉いもち	ブラシン粉剤DL	直ちに	収穫7日前まで	2回以内	3～4kg
	ブラシンフロアブル				1,000倍で60～1500
紋枯病	バリダシン粉剤DL	穂ばらみ期	収穫14日前まで	5回以内	4kg
	バリダシン液剤5				1,000倍で60～1500
稲こうじ病	Zボルドー粉剤DL	穂ばらみ期まで	出穂10日前まで	—	4kg
イネアオムシ イネツトムシ コブノメイガ	トレボン粉剤DL	直ちに	収穫7日前まで	3回以内	4kg

※詳しくは、「営農とくらし」P40～41を参照してください。

大豆

1 培土

生育量の確保や雑草の抑制のため、**培土**は確実に2回行いましょう。

○培土の目安

- 1回目は本葉2～3葉期 ➡ 子葉が隠れるまで
(播種後20～25日頃)
- 2回目は本葉4～5葉期 ➡ 初生葉が隠れるまで
(播種後30～35日頃)

2 雑草防除

- ・培土後に雑草が残った場合は早めに除草剤を散布しましょう。
※詳しくは、「営農とくらし」P79を参照してください。
- ・多量の降雨が予想される場合は、除草剤の使用は避けましょう。

3 溝の手直し

降雨の後に溝に水が停滞している場合は、**溝の手直し**や**排水口の掘り下げ**を行いましょ。